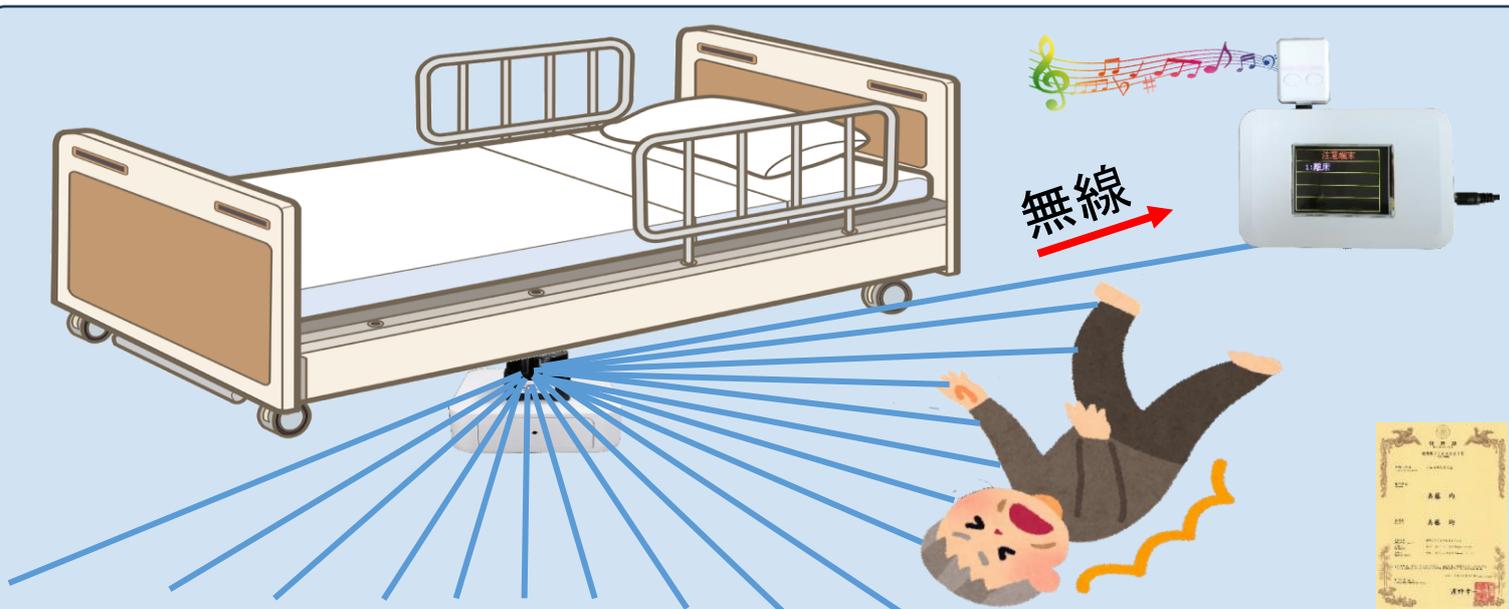


# 離床・転倒・徘徊 検出センサー

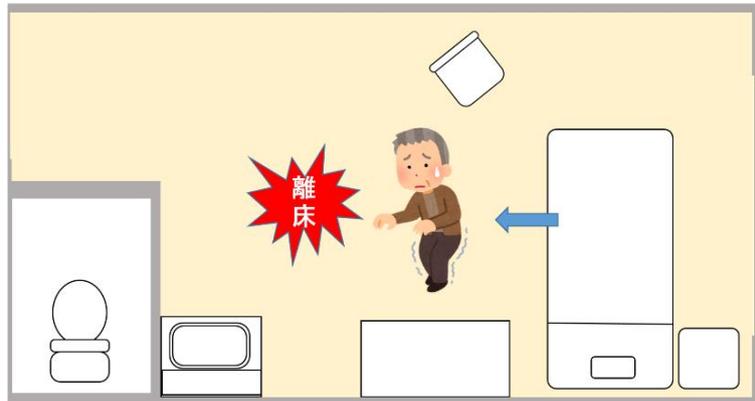
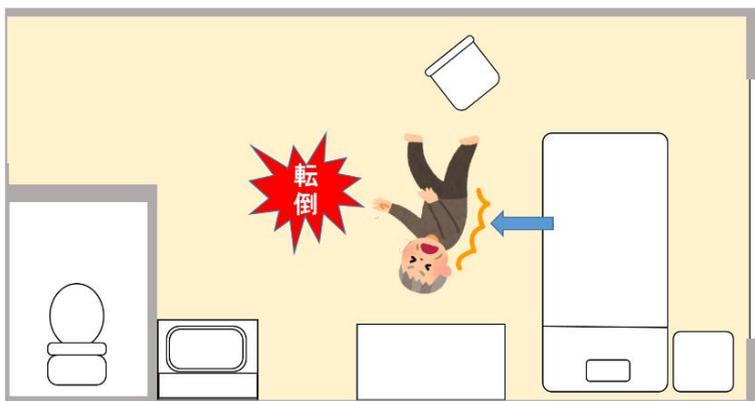


レーザー光を照射して対象物までの距離や形状などを計測します。

このシステムは、LiDAR 技術を使用して高齢者の離床、転倒、徘徊を検知するセンサー システムです。このシステムはチャイムで介護者に警告し、LORA (長距離無線) 通信を使用しているため、Wi-Fi を必要とせず最大 40 個のセンサーを監視できます。プライバシーが確保され、動きを検知する特許取得済みの技術を備えています。このシステムは個室用に設計されており、専用モニターにリアルタイム通知を提供します。

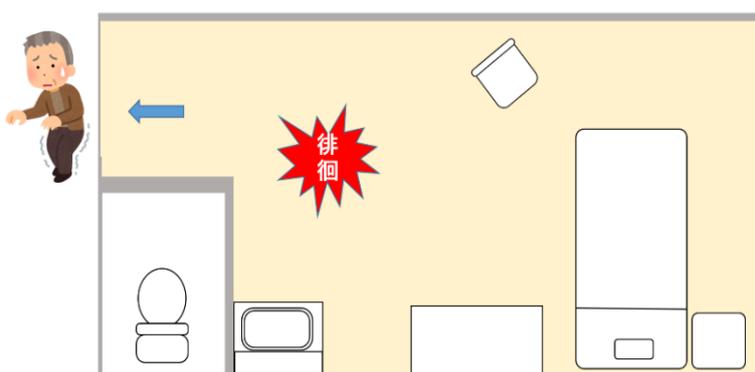
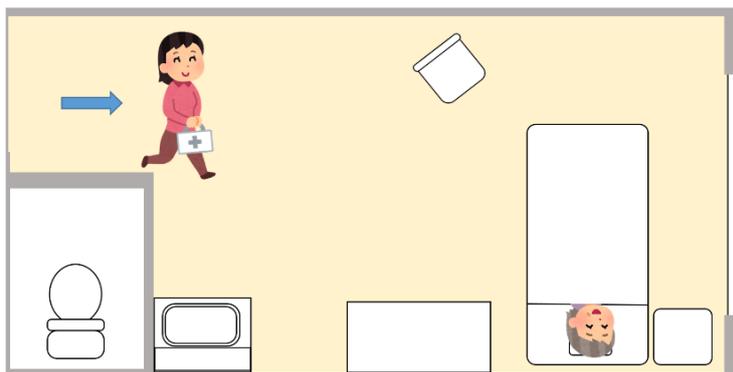
座込んだり寝転ぶと**転倒**と判定します。

ベッドから離れると**離床**と判定します。



**介護者**は警報しません。

部屋から出れば**徘徊**と判定します。

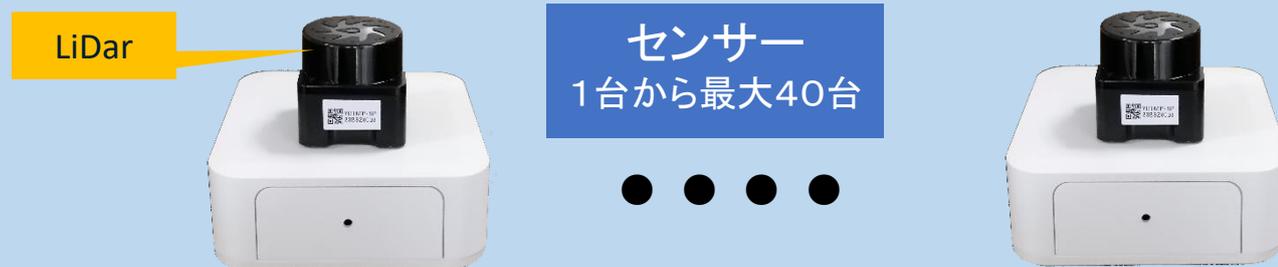


# 離床・転倒・徘徊 検出センサー

1ユニット



↑ 長距離無線 (LORA)



## 使用開始

- ① センサーはベッドの下に設置しますが、靴やスリッパの影響を避けるために10cm位の台の上に乗せます。(DAISOの角型貯金箱など)
- ② 被介護者がベッドにいる状態でセンサーを軽くノックし、センサーをリセットします。
- ③ 無人の部屋の間取りを始めますから、介護者は速やかに(15秒以内)に部屋から退室してください。
- ④ センサーを動かすと部屋の形状変更となるため、正確に離床や転倒を判定できません。
- ⑤ 介護者が椅子や家具を動かした場合は、自動で部屋の形状を変更します。
- ⑥ 正常時はセンサー番号を表示します。
- ⑦ 番号の色は電波の強い時は白、中間の場合は黄色、電波が弱い場合は赤となります。

## センサーの設置

- ① 個室対応となります。
- ② センサーはベッドの下に設置します。
- ③ 靴やスリッパ等の影響を避けるために10cm位の台の上に乗せます。
- ④ LEDの中心から左右90度が監視範囲となります。

## LEDの表示

- ① 緑の点滅 : 部屋の間取りの測定
- ② 緑の点灯 : 正常
- ③ 赤の点灯 : 離床
- ④ 赤の点滅 : 転倒
- ⑤ 青の点滅 : 徘徊
- ⑥ 青の点灯 : 介護者の入室

## 液晶モニターの表示

- ① 間取 : 無人の部屋の形状の測定
- ② 正常
- ③ 離床 : ベッドから足を着いた場合
- ④ 転倒 : 転倒や座りこんだ場合
- ⑤ 徘徊 : 退室
- ⑥ 介護 : 介護者の入室
- ⑦ 故障 : センサーの故障

## チャイム(上の赤字で鳴動)

- ① チャイムの停止は液晶面に触れてください
- ② チャイムの停止中でも新しい事象が発生すればチャイムは鳴ります。
- ③ チャイムの音量は変更できません。